



新十津川小学校



新十津川小学校



新十津川中学校



新十津川中学校



新十津川農業高校

3 1、13、19 思い出を胸に旅立ちの春 小中高校で卒業式

春を迎えて、町内各校で卒業式が行われました。1日に行われた農業高校卒業式で、樋口良弘校長は「農高での3年間は大きな力。これからは人を支える人になれ」と卒業生に力強い言葉で、13日の中学校卒業式で、本間章久校長は「人格高潔な人になれ、光を放つ人になれ。しっかりと人生を歩んでほしい」、19日の小学校卒業式で、酒井雅彦校長は司馬遼太郎の詩を引用し「自分に厳しく、相手に優しく」と、卒業生にエールを贈りました。卒業証書を手にした卒業生は、保護者と在校生の大きな拍手に送られながら次の一步を踏み出しました。

3 13 スイーツお披露目

10月に開催された中学生模擬議会で「町の特産品を使ったスイーツの開発を」との提案を受けて、振興公社と喫茶ニースがメロンムースとかぼちゃロールを開発しました。保護者を対象にした謝恩会に試食品として出され「おいしい」と好評を得ています。このスイーツは喫茶ニースで1個250円で販売されています。





3 21 雪室でおいしいソバを

ソバのおいしさを夏まで保つための雪室の完成祝いを兼ねて、そば同好会が収益金をチャリティー募金にあてるイベントを開催し、100人を超える参加者でにぎわいました。

雪室は室温を15度以下に、湿度を65%に保ったまま玄ソバを保存することができ、夏まで風味を損なうことなくソバを味わうことができます。

新しいそば料理の開発を続ける同好会は、このイベントで米粉を10%使用した「空知麺」と、トマトをだし汁に使用した「トマトそば」を参加者に提供し「モチモチした食感がおいしい」「トマトの酸味があっさりして、そばに合っている」と好評を得ていました。

3 7 歩くスキーのつどい

体を動かしながら自然に親しもうと、徳富川河川敷のスキーコースでNPO法人新十津川町体育協会が歩くスキーのつどいを開催し、小学5年生から80歳までの31人が参加しました。好天に恵まれたこともあり、1周4.5kmのコースを回ってくると、心地よい汗をかいていました。



3 16 救出活動報告

2月25日に学園地区で起こった落雪事故で、連絡をとり合いながら現場に駆けつけ、救出活動をした消防団員の庭山智和さん（左）と稲葉一隆さん（右）が、池田幸博消防支署長に報告をしました。「当然のことはただけです」と話す2人に、支署長は「的確な行動」とたたえていました。



3 23 防犯ブザー寄贈

滝川地区防犯協会が小学校新入生のために、防犯ブザーを教育委員会に寄贈しました。万が一のトラブルに巻き込まれた際に対応するもので、協会副会長の寺田隆政さんは「使う必要がないことを願っています」と話していました。入学式で新入生61人に配られます。

